

令和6年度

神戸大学国際人間科学部発達コミュニティ学科

総合型選抜

表現領域受験【美術受験】第1次選抜

令和5年9月30日（土）実施

【筆記試験】（100点）

美術に関する基礎的知識及び美術文化全般に
対する関心の深さと理解力を問う検査

試験時間：60分

（注意）

- ① 問題は3問（問題冊子は表紙を含め4枚）あります。
- ② 解答用紙は2枚あります。
- ③ 解答はすべて解答用紙の指定の欄に記入してください。
- ④ 解答は、解答用紙に横書きで記入してください。
- ⑤ 下書き用紙は2枚あります。
- ⑥ 配付した問題冊子、解答用紙、下書き用紙は持ち帰ってはいけません。

令和6年度神戸大学国際人間科学部発達コミュニティ学科
総合型選抜
表現領域受験【美術受験】

【問題1】

以下の図版は、フィンセント・ファン・ゴッホ（1853年－1890年）が描いた「オーヴェールの教会」と題された絵画である。この作品の特徴について300字以内で述べなさい。（配点30点）

【問題 2】

以下の図版は、田中一光（1930 年－2002 年）が制作したポスターである。この作品は、アメリカで開催された日本の古典芸能のイベントのためのものであり、日本舞踊をテーマとしている。このポスター作品の特徴について 300 字以内で述べなさい。
(配点 30 点)

【問題 3】

以下の文章は、画家アンリ・マティス（1869年－1954年）が絵画の創作について語ったものである。ここで述べられているマティスの考えを簡潔にまとめたうえで、あなたにとってデッサンとはどのようなものか、色彩とはどのようなものか、デッサンと色彩の関係はどのようなものか、自身の考えを 400 字以内でまとめなさい。（配点 40 点）

デッサンと色彩を分けることは不可能です。色彩はけっして行き当たりばつりに用いられないので、制限やことに釣合いがある以上は裂け目はあります。そこへ画家の創造や個性がはいり込むのです。

デッサンもまた重要です。それは対象をわがものにしたことの表現です。ある対象を徹底的に知ったときには、すっかりその特徴をつかむような輪郭線で囲むことができます。（中略）

すべては、色彩ですら創造でしかありえない。私は対象に迫る前にまず自分の感情を描き表わします。そのときは対象も色彩もすべては再創造しなければなりません。

（出典：アンリ・マティス『画家のノート』二見史郎訳、みすず書房、1978年より）